

産業建設常任委員会 報告

管外視察研修報告

10月17日～18日

研修先／福島県北塩原村他
(研修目的)

自然を活かしたエコツーリズムへの取組みと、東京都杉並区との「まるごと保養地協定」について

(研修結果)

人口3千478人、財政規模は16年決算33億5千万円。村税は7億2千万円、財政力指数0.3。産業の主軸を「自然環境を生かした観光産業振興」におき、平成の合併に参画せず自立の道を歩む。※バブル期、多くの観光客が訪れたが、そのために湖などの汚染が問題になり、下水道の整備を10年間で行った。自然保護等から平成12年までに19箇所のレストランを閉鎖した。この背景には最盛期40万人の観光客が30万人に減少したことや、交通網の整備により通過型観光となったことに伴い、滞在型観光への移行への強い思いがあった。

平成16年度環境省による「エコツーリズム推進事業」モデル地区に選出され、現在小中高校生が学校単位で、また若い男女や中高年が裏磐梯の自然とふれあいを求めてトレッキングを楽しんでいる。五色沼自然探勝路コースを1時間ガイド付きでトレッキングした。ガイドは裏磐梯を熟知し、意見も抜群であった。北塩原村の観光政策課長が忙しい中同行してくれた。視察依頼を快く引き受け、助役以下の対応もよく「泊まってください。いい温泉がありますよ」といった議会事務局長。村職員に人をもてなす気持ちと村をアピールして観光振興を図ろうとする意識を強く感じた。

五色沼自然探勝路について係員から説明を受ける



いを与えたい。北塩原村としては、地域活性化が図れるとして、相互の調印が成立した。内容は区民への特典として、宿泊施設料金10%以上・連泊の場合20%以上、観光施設利用料10%以上、飲食店・土産店等は5%以上の割引をするというものがある。協賛施設は210のうち108施設。17年度に入って杉並区での「裏磐梯の四季写真展」「高円寺阿波踊り」への参加。杉並区より「北塩原村バスのたび」区立和泉中学体験学習5日間等の交流が始まっていて、今後の広がりを期待している。

閉会中の委員会調査
11月7日
「温泉管理事業について」
(調査結果)
18年度から新会社に移行。資本金350万円(出資口数7口、50万円均等出資)固定資産3億8千500万円の無償譲渡。流動資産17億円は一般会計へ。未収金2千700万円のうち700万円が倒産3社分で不納欠損とした。移行後の固定資産税は資産3億8千500万円から土地分800万円を引いた1.4%で約500万円になるのではないか。

閉会中の委員会調査
12月20日
開会中の委員会審査
●議案第71号
平成17年度下水道特別会計補正予算(第4号)について
(賛成全員で可決すべきものと決定)
歳出予算の組換えで、総額は10億9千365万9千円と変更なし。総務費の一般管理費は建設費の減少から、支払う消費税が861万9千円増。公共下水道費の一般管理費は9月末係長が退職した事による人件費の減。公共下水道の建設費は国道関連の工事ができなかったことによる工事請負費500万円の減。雨水管理費は宮林地内の雨水幹線の水路落差改修費300万円の増。
●議案第73号
平成17年度温泉管理事業会計補正予算(第1号)について
(賛成全員で可決すべきものと決定)
人事院勧告等に伴う湯沢町職員の給与に関する条例の改正により、28万6千円の増額補正。
□委員から
○温泉集中管理移行に伴い未収金はどうなっているか。
▲未収金は2千700万円あったが現在200万円程度となっている。